

南あわじ市 平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続

(事業 委託 補助用)

基本事項

整理番号 77

事業名	ホームページ	予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	総務部 情報課		款	総務費・2款
電話	0799-43-5003		項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		目	文書広報費・2目
		法的根拠 (法令、条例、要綱等)		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり		
	まちづくりの目標	大好き ふるさと南あわじ【郷土愛】		
	施策目標	地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重し、感謝・思いやりのある人を育てる		
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助

Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		市内外の方々	対象人数(人)
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		市が開設しているホームページにより、市の概要、施策展開などを紹介。また、市への意見を聴取する。ホームページでは、その即時性を活かし毎月の広報紙では伝えられない緊急防災やタイムリーな時事情報、動画などを発信することを目的としている。また、広報紙の届かない市外の観光客にもイベント情報を発信するツールとして利用される。	
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)		
	現在、市のホームページ作成支援ソフトCMS「RAKUDA」により、各担当課による市政情報やイベント情報の発信を行っている。		
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)		
	旧4町の合併に伴う新市の発足により、新市での情報発信媒体としてホームページを刷新することが求められ、現在の南あわじ市ホームページが作成された。		
事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度	~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から		
	旧4町単位で作られていたホームページを廃止。それに伴い、新市1本でホームページを構築する必要があり、委託業者の選定のためプロポーザル(企画提案協議)を実施し、旧4町の企画担当と総務担当が評価した。総合的な判断によって、最終的に随意契約でパナソニックSSマーケティング(株)と結び、現在のホームページを構築した。		

Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	市ホームページの月単位のアクセス数					指標単位 アクセス
	指標説明 (指標算出 方法等)	CMS「RAKUDA」による毎月のホームページアクセス数をログ解析によって算出する。これによって、市内外の人がどれだけインターネットを使ってホームページの閲覧を行っているか確認することができる。					
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標値	147,000	148,000	149,000	150,000	151,000	
	実績値	146,545	147,047	158,974			
	達成度(%)	99.7	99.4	106.7	-	-	
目標値設定 の考え方	アクセス数で市政情報や観光情報などの閲覧及びホームページの利便性が数値として表れると考えられる。多くの方に閲覧をしていただきたいことから、年々アクセス数の増加を目指す目標値にした。						
資源配分 (インプット)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	直接事業費 (千円)	1,176	767	0	12,483	1,462	
	ホームページ保守管理委託料 (トップページ・カスタマイズ含む)	1,176	767	0	483	1,462	
	線ホームページ更新業務委託料	0	0	0	12,000	0	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	1,176	767	0	12,483	1,462	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	30,551	30,879	30,003	19,564	19,564	
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.8	26.8	
	事業量1(事業に要した日数)	365	365	365	365	365	
	事業量2(事業に要した人数)	3	3	3	2	2	
年間経費([A]+[B])	31,727	31,646	30,003	32,047	21,026		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-		
経費に関する 補足説明	平成22年度は「パブリックSSマーケティング(株)との保守契約期間が終わり、保守管理委託料は発生していない。平成23年度は、新たなCMSの導入を予定している。利用者のインターネット利用環境、技術の進歩によってユーザビリティやアクセシビリティの向上が求められる中、時代に見合ったウェブサイトによる情報提供を実現する。						
	平成22年度まで決算額。平成23～24年度は当初予算額(繰越含む)。						

Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
達成度	目標達成度	%	99.7	99.4	106.7	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) アクセス数を達成する目標は、市政情報などのページの更新頻度を増やし、多くの情報を発信することによって、市民の関心を引けるよう心がけた。また、市の観光情報やイベントなどを紹介するためにもホームページを頻繁に更新し、最新の情報を発信した。 アクセス数は平成21年度より上がったことから、少しずつユーザーのニーズにあった情報の発信ができていると考える。						自己評価 (5点評価) 4
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 一昨年の地域情報化市民アンケートから「知りたい内容の情報がどこにあるかわからない」「文章表現がわかりにくい」などの意見があった。平成22年度はアクセシビリティやユーザビリティの向上を図るため、ページの更新の際、ユーザーが知りたいページにたどり着きやすいようホームページを記述したソース上で工夫した。 また新しい情報はトップページからすぐにアクセスできるように新着情報の欄に可能な限り掲載した。できる限り行政用語を使わないよう作成者と連絡調整をした。						自己評価 (5点評価) 4
	事業単価	円	-	-	-	-	-
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) ホームページにかかるコストは基本、保守委託費のみである。各担当課のホームページ作成者には、掲載すべき新たな情報をどんどん載せてもらうよう呼びかけた。情報を発信する頻度が多ければ多いほどアクセス数とコストパフォーマンスは上がると考える。						自己評価 (5点評価) 4
	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) インターネットを利用することによって、市役所に足を運ばずとも情報収集をすることができるホームページの必要性は高い。情報の更新も手軽に行え、市民の方がすぐに情報を入手できるようになる。また緊急の防災情報においてもホームページで情報を載せることができる。 今年度のホームページ作成支援ソフトの導入(更新)によって、視聴覚障害者への対応や外国語対応などの機能を充実させ、より見やすい、使いやすい、わかりやすいホームページの構築を目指す。						自己評価 (5点評価) 5
	総合評価	自己評価をふまえた現状分析 情報化社会においてホームページは必要不可欠であると考え。しかし情報を発信すべき部署が情報を更新していないこともある。また、ページのデザインの統一性にかけている部分もある。 住民の方が求める情報にすぐにたどり着けるよう、また見やすい、わかりやすい内容になっているかどうか今後も各担当課と調整の上、よりよい情報発信するツールとして活用していく。					評価グラフ

Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成24年度にできる改善・改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	新システム導入後、ソフトウェアのバージョンアップや万が一の生涯に備え保守契約を結ぶための予算を確保しておく。	新システムのための保守委託費が必要となる。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 廃止の場合、市のホームページを見ることができなくなる。市政情報や観光情報を市内外に発信できなくなる。	